



大 阪 錦 絵 新 話 第 七 号

大永堂 裡昇誌

小松政元
美作屋

阿波文板
ボトラ

下総国海上郡
飯沼村 女良松
妻がやいし三川村の切之助
と密通しつゆを去る四月より
活計の爲に飯沼村を雇はせし行舟主は誰とやら
會通て泉の文落と約束するが同村三之助より
貰ひ去つる女子が邪魔ありと捨るも世話と下思ひ濱の
真砂のかつても縁うちもあれ知子を海へこゝろ人へ未自浪と
処を思ひを胎沖の石もまふ引りておやつた切之助を
十餘の親友債々内事類を遂に紳せしを假役の罪の付へ日と新文
九百七十四号出

大阪錦絵新話7号 文庫10-8067-5

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

